

さかいでオレンジかぶえ

くつろぎカフェ通信

4月27日(土) 14時～

みのりクリニックにて

くつろぎカフェを開催しました



理学療法士の指導のもと

転倒防止の体操をしました

1セット10回ずつでも普段

使わない筋肉が鍛えられる

ようでした

蔵谷Drのミニ講座では

「認知症」について学びました

参加費100円でお茶とお菓子を

楽しみながら意見交換するこ

とができました



蔵谷Drミニ講座今回のまとめ

1

認知症の定義と特徴

- 認知症の定義
 - 認知症とは、一度正常に達した**認知機能**が後天的な脳の障害によって**持続性に低下し、日常生活や社会生活に支障をきたすようになった状態**をいい、それが意識障害のないときにみられる。
- 認知症の特徴
 - 脳の器質性障害がある
 - CT・MRIなどで把握できる。
 - 中心となる症状は**認知機能の障害**である
 - 二次的に感情、気分、行動の領域も障害を受け、異変状況がみられる。
 - 意識障害がない状態でも症状がみられる
 - 意識障害のあるものは急性性・一過性だが、**認知症の場合は慢性・進行性**である。

2 日本神経学会監修 認知症疾患診療ガイドライン 2019年

2

認知症の診断基準(DSM)



American Psychiatric Association, Diagnostic and statistical manual of mental disorders, 4th ed text revision (DSM-IV-TR)

3

家族が最初に気づいた認知症高齢者の日常生活の変化

- 同じことを何回も言ったり聞いたりする (N:123)
- 財布を盗まれたと言う
- だらしくなくなった
- いつも降りる駅なのに乗り過ごした
- 夜中に急に起き出して騒いだ
- 置き忘れやしまい忘れが目立つ
- 計算の間違いが多くなった
- 物の名前が出てこなくなった
- さいななことで怒りっぽくなった

東京都福祉局「高齢者の生活実態及び健康に関する調査-専門調査報告書」1995より

4

認知症と間違えられやすい状態

- 加齢に伴うもの忘れ
- うつ病(仮性認知症)
- せん妄

5

認知症でみられる症状

認知症は、もの忘れや判断力の低下が進行してくると、それにもなって身のまわりの動作が困難になるといった**生活障害(ADL障害)**がみられます。



6

生活障害(ADL障害)が進行すると...

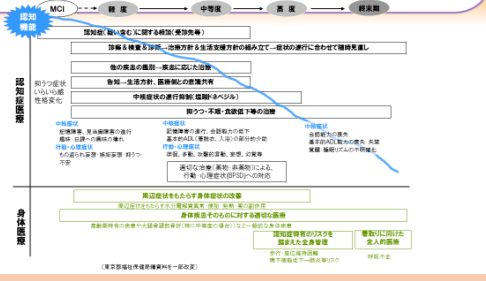
見守りや手助けを必要とすることが多くなって、**介護するご家族の負担が大きくなります。**



これまでの介護が困難になると、ご本人とのよい関係が保てなくなってしまうこともあります。介護の負担を軽減するために、生活障害(ADL障害)の進行を遅らせ、生活機能を長く維持するための治療を始めましょう。

7

認知症の経過と必要な医療



8

本日のまとめ

- 物忘れだけじゃないよ、認知症
- 日常生活の障害、できなくなる自分
- 徐々にできないことが増える
- 忘れることは、幸せ
- 実は……死に至る病

次回は**5 / 18(土) 14:00**～です

どなたでもご参加いただけます

ぜひお越しください♪